

CMI 株式会社

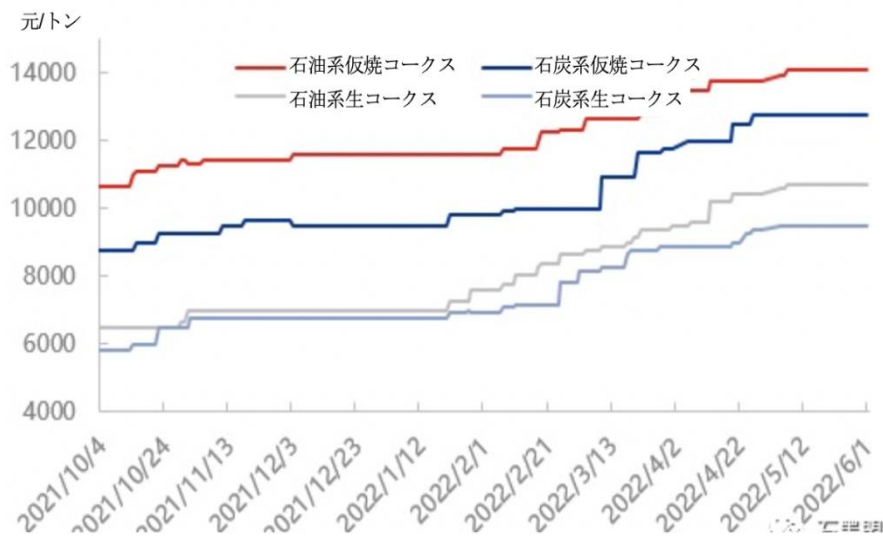
横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話: +81-45-717-8575

中国のニードルコークス市場の見通し（2022年6月）

2022年3月～4月に値上がりしていたニードルコークス（以下、「NC」）は、5月上旬で高止まりした。

6月に入って一部のNCメーカーでは1トン当たり300元（0.59万円。1元=19.64円で換算）値上げしたが、買い手側は静観の姿勢を示し取引はまだない。



出典：隆衆資訊整理

図1 中国のNC価格の推移（2021年10～2022年6月）

買い手が静観する要因には次のことが考えられる。

➤ 低硫黄石油コークス価格の値下がり

5月下旬から石油コークスメーカーの一部が値下げしており、6月1日の錦西石化1#B価格は1トン当たり6,900元（13.55万円）となり、前週から15.85%低下した。低硫黄石油コークスの値下がりでも下流メーカーは石油コークスの配合率を引き上げたためにNC需要量が低下した。これがNC価格の高騰に歯止めをかけると思われる。

中国石油天然ガス股份有限公司傘下の大慶石化（所在地：黒龍江省大慶市）と撫順石化（所在地：遼寧省撫順市）の石油コークス価格をベンチマークとしてNCメーカーはそれぞれNC価格を調整する。この2社からの価格調整計画はまだ出ていないため、NC市場は静観している。

➤ 負極材料市場のNC需要が減少

5月、負極材料の需要がコロナ感染拡大によるリチウムイオン電池販売量の低下で減少し、メーカーが原材料の購入を抑えたことを受けて石炭系NCメーカーの在庫が上昇した。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話: +81-45-717-8575

➤ 黒鉛電極の生産量低下

鉄鋼市況の低迷、コロナ感染拡大、環境規制、原料価格の高騰などの影響で、黒鉛電極の生産量が減少しており、一部のメーカーは NC の代わりに安価な低硫黄石油コークスを配合している。それにより黒鉛電極市場の NC 需要は低迷している。

負極材料と黒鉛電極市場 NC 需要の低迷、低硫黄石油コークスの値下がりから NC の出荷量は減少している。しかし、NC 価格が大幅に下落する可能性は低く、6 月は価格が安定する見通しである。

今後はコロナ感染の影響縮小によって自動車産業の生産再開、負極材料新工場の稼働などで NC 需要が上昇し、NC 価格は堅調に推移するとみられている。

情報源：隆衆資訊より整理作成。